

# なすしおぼら ボランティアセンター情報誌

令和6年11月20日号



▲デフリンピックを表す手話  
OK を意味するサインが含まれています



～クイズ～

デフリンピックのロゴマーク  
(右)の中央の〇は何を表し  
ているでしょうか？



1. 地球 2. ボール 3. 目

※答えは最後のページにあります

10月7日(月)、豊浦小学校の4年生を対象に手話体験・聴覚障がい者の講話を行いました。

この日の内容は、2025年に東京で初めて開催される、デフリンピック(耳の聞こえない・聞こえにくい選手のための国際的なスポーツ大会)についての説明を渡邊純子さん(ろう講師)が、手話体験を鈴木弘義さん(ろう講師)が務め、挨拶や数字、家族の表現などを手話で教えました。

児童たちも一生懸命手の動きを真似し、休み時間中には習った手話でコミュニケーションをとる様子も見られました。



# 傾聴ボランティアグループ交流会

## グループひまわり × ハートフルハート



傾聴ボランティアグループの交流会が、10月24日（木）ボランティアセンターで開催されました。那須塩原市の「グループひまわり」と大田原市の「ハートフルハート」のメンバーが集まり、グループ紹介や定例会の様子を紹介したり、互いの活動について質疑応答を行いました。

グループに分かれての話し合い活動では、傾聴ボランティアを始めたきっかけや活動上の悩み・良かったことなどをテーマに進められ、真剣に話を聴く姿や笑顔が見られ、同じ活動を行う者同士の交流の時間を楽しみました。

各グループで出た意見や感想の発表では、「またねと言われると嬉しい」、「活動の場が増えると参加者も増えるのではないか」、「色々な活動をして話題を広く持つことが活動に繋がる」、「有意義な時間だった」などの感想がありました。

今回の交流会で互いの活動を知り、改善点や今後の課題、同じ悩みを抱えていることなど、多くの気づきがあったことが伺えました。最後に皆さんで集合写真を撮り、和やかな交流会となりました。



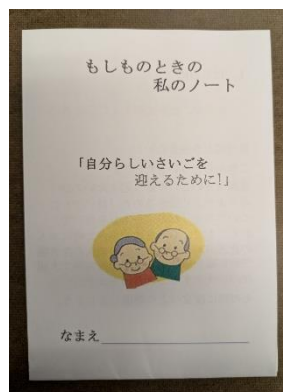
# ちいきカフェ円と縁「認知症講演会」開催

## ～安心して暮らせる地域づくりを目指して～

10月30日（水）「地域の居場所 ちいきカフェ円と縁」主催の認知症講演会が、ボランティアセンターを会場として開催されました。まず初めに、スライドショーでちいきカフェ円と縁の活動紹介を行いました。次に、ちいきカフェ円と縁が独自に制作した「もしものときの私のノート」の説明を行い、「もしもの時に備えて、遺言書とは違うので、自分の人生を振り返りながら書いてほしい」と話しました。

認知症講演会は、「公益財団法人認知症の人と家族の会 栃木県支部」代表の金澤林子さんを講師に招き、約1時間の講演が行われました。金澤さんは、自身が代表を務める「オレンジサロン 石蔵カフェ」の活動の紹介やそこに集う人たちとの活動、認知症のことなど、わかりやすい言葉で伝えました。そして「今の瞬間、その時が楽しく過ごせる様に、周囲の人も語彙を豊かに、笑顔で言葉がけをしてほしい」と話しました。

最後に、ちいきカフェ円と縁代表の鈴木良雄さんは、「認知症になっても、安心して暮らせる地域づくりをがんばりましょう」と締めくくりました。





# 西那須野ハーモニカフレンズ 二区町生きがいサロンで演奏会♪



9月28日(土)、西那須野ハーモニカフレンズが二区町自治公民館で開催されている生きがいサロンに招かれ、ハーモニカの演奏会を行いました。17名で活動している西那須野ハーモニカフレンズですが、この日は6名のメンバーで訪問し、約1時間童謡や演歌など幅広いレパートリーの曲を披露しました。皆さんが知っている曲が多く、歌を口ずさみながら演奏を聴いている方もいました。西那須野ハーモニカフレンズのオリジナル演歌メドレー「演歌チャンチャカチャン」では、次から次へと曲が代わり、演奏に合わせて歌を歌い大いに盛り上がりました。



演奏の間には、ハーモニカの種類やその音色を紹介したり、独奏を交え、皆さんを楽しませました。アンコールでは、「演歌チャンチャカチャン」を披露し、最後は「富士の山」の演奏と歌に合わせて手話ダンスで体を動かしました。

西那須野ハーモニカフレンズは、毎週第2・第4の日曜日と金曜日、西那須野公民館で練習を行っています。会員も募集していますので、入会を希望する方は、ボランティアセンターまでお問い合わせください。



## ボランティア保険加入手続きを随時 受け付けています★

ボランティア保険は、活動中の事故やケガを幅広く補償する保険です。ボランティア活動をする前には、ボランティア保険に加入しましょう。ご加入手続きは、ボランティアセンター窓口までお越しください。



## ボランティア情報誌に掲載する 情報を募集しています♪

個人・団体の活動紹介や会員募集、投稿記事、イベント情報を掲載したいなどの情報をボランティアセンターまでお寄せください。

情報誌は奇数月の20日に発行しています。



# 道の駅「明治の森・黒磯」



## 田園ウォーキング



10月20日（日）、道の駅「明治の森・黒磯」で田園ウォーキングが開催され、11名のボランティアが、受付、コース誘導、牛乳やお菓子・甘酒の配布、芋ほりの補助として参加しました。

毎年恒例のイベントとなっており、今回は125名の参加がありました。ウォーキングの参加者は、4kmと5kmの自然豊かな田園風景を眺めるコースを歩きました。

この日は青空が広がっていましたが、とても風が強く外での活動は寒くて大変だったにも関わらず、参加したボランティアは、「ボランティア同士で交流できるのも楽しいし、歩いている参加者を応援するのも楽しい。」と笑顔で話してくれました。



◀コースの誘導と甘酒準備の様子



## 司ボランティア～パン寄付活動で子供たちに笑顔を～

司ボランティア代表の薄井静雄さんは、いくつかの施設に約3カ月周期でパンを届ける活動を行っています。

NPO法人キッズシェルターには毎週金曜日に届けており、今年で2年目になります。キッズシェルターでは、お弁当と一緒に配ったり、にじのいえ（食事つき子どもの居場所）で子どもたちに提供しているとのこと。

キッズシェルターの森田さんは、「たくさんの種類のパンが届くので選ぶ楽しみがあり、子どもたちも喜んでます。」と話され、薄井さんも「お返しに、手紙や折り紙などで感謝の気持ちを伝えてくれるので嬉しい。」と話してくれました。



▲キッズシェルターの森田さん（左）と薄井さん（右）



きらむぎのパンを届けています



# 第1回ふれあい那須塩原 at 黒磯

～みんなが共生する社会を目指して～



黒磯の「ふれあい広場」と、西那須野の「福祉まつり」の想いを一つにした、第1回ふれあい那須塩原 at 黒磯が9月28日（土）に那珂川河畔公園で開催されました。

ボランティア団体や市内の福祉施設、企業、学生ボランティアなどが協力してイベントを盛り上げました。ボランティアセンターの登録団体も、ステージ発表やブースでの活動紹介、遊びコーナーを設けて参加し、来場者と交流を深めました。

会場には笑顔が溢れ、子どもからお年寄り、障がいのある人ない人も、みんなで作り上げた素敵なイベントとなりました。



# おしせ

## 歳末たすけあい募金運動が始まります

歳末たすけあい募金運動は、12月1日～12月31日の1か月間、共同募金運動の一環として、新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが、安心して暮らすことができる福祉のまちづくりに向けたさまざまな福祉活動を展開するものです。

那須塩原市では社協が事務局を担っており、歳末たすけあい募金運動の初日に、以下のとおり街頭募金を実施します。たくさんの「やさしい気持ち」が共同募金を通じて地域の福祉を支えています。

みなさまのご理解とご協力よろしくお願いいたします。

街頭募金実施日：令和6年12月1日（日）

【黒磯地区】午前11時～

- ①ヨークベニマル那須塩原店 ②オータニ黒磯店
- ③とりせん黒磯店 ④道の駅「明治の森・黒磯」
- ⑤ダイユー東那須野店 ⑥ドン・キホーテ黒磯店

【西那須野地区】午前11時～

- ①ヨークベニマル西那須野店 ②フードオアシスオータニ永田店
- ③オータニ西那須野店 ④ベイシア那須塩原店
- ⑤ヨークベニマル西富山店 ⑥リオン・ドール西那須野店

【塩原地区】午前11時～

- ①アグリパル塩原

【駅構内】午後1時～

- ①西那須野駅 ②那須塩原駅

☆那須塩原市高校生ボランティアグループ「とんぼの会」では、10月6日（日）の赤い羽根共同募金街頭募金に参加し、募金活動を行いました。



那須塩原市高校生ボランティアグループ「とんぼの会」が駅2か所で募金活動を行います。

※時間はいずれも1時間程度になります。

## 令和6年度 災害ボランティアセンター運営サポーター研修

### ～地域でつくる！災害ボランティアセンター はじめの一步～

地域における災害ボランティア活動への理解や意識醸成を図り、災害ボランティアセンター運営を地域でサポートする人材を増やすとともに、普段からの住民同士の相互活動やつながりづくりの促進を目指すことを目的に開催します。

【日 時】令和6年12月21日（土） 9時30分～16時（受付開始9時～）

【会 場】健康長寿センター（那須塩原市南郷屋 5-163）

【内 容】午前：講義（災害ボランティアセンターに関する基礎知識・しくみ、災害被災地支援報告）  
午後：災害ボランティアセンターの運営訓練  
※お昼に非常食試食体験を行います

【定 員】30名程度

【参加費】無料

【問合せ】那須塩原市社会福祉協議会 TEL：0287-37-5122




この機会に災害時の支援について考えてみませんか



## 令和7年度 那須塩原市市民提案型協働のまちづくり支援事業

～あなたの熱意とアイデアをまちづくりに生かしてみませんか～

自治会やコミュニティ、NPO 法人、企業、ボランティアなどの市民活動団体が企画・提案し実践する公益性の高いまちづくり活動に対し、活動費の一部を補助します。

| コ ー ス  | チャレンジ支援コース  | スタート支援コース  | ステップアップ支援コース   |
|--|---|--|--|
| 交付対象事業   | 若者の自由な発想で地域貢献活動を行う事業<br>(テーマは自由)<br>【事業例】<br>地域のごみの減量活動、世代間の交流、地元食材のPR活動など  | 社会的又は地域的な課題解決に資する事業<br>以下のテーマから1つ選択<br>(1)「那須塩原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における基本目標に資する事業<br>(2)「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に寄与する事業 | 過去に那須塩原市市民提案型協働のまちづくり支援事業補助金の交付を受けた事業(チャレンジ支援コースを除く。)であって、その事業を発展し、継続させる事業 |
| 交付対象団体   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内を主な活動範囲とする市民活動団体であること。</li> <li>・構成員が5人以上で、うち半数以上が市内に居住し、通勤し、又は通学していること。</li> </ul>   |  |  |
|  | 構成員の8割以上が令和7年4月1日において30歳未満であること。  | 令和7年4月1日において活動実績が1年以上あり、かつ、定款、規約又は会則を定め、適切な会計処理が行われていること。  | 過去に補助金(チャレンジ支援コースを除く。)の交付を受けた団体であること。                                      |
| 補助率  | 10/10以内   | 9/10以内   | 1回目 7/10以内<br>2回目 5/10以内   |
| 補助上限額  | 10万円まで  | 30万円まで   | 50万円まで   |
| 交付回数制限   | 同一事業につき1回限り   | 同一事業につき1回限り  | 同一事業につき2回まで  |
| 事業期間   | 令和7年4月～令和8年2月末日まで   |  |  |
| 審査方法   | 書類及びプレゼンテーションによる審査  |  |  |
| 募集期間   | <b>令和6年10月3日(木)～ 令和6年12月20日(金)</b>  |  |  |
| 事前相談   | <p>市民提案型協働のまちづくり支援事業に応募する場合は、事前相談が必要です。<br/>あらかじめ電話で日時の予約をお願いします。</p> <p>◆相談期間 令和6年10月3日(木)～ 令和6年11月29日(金)<br/>水曜日と祝日を除く午前9時から午後5時</p> <p>◆相談窓口 市民活動センター(那須塩原市大原間西1-11-10)</p>  |  |  |
| 応募方法等  | <p>◆応募方法 募集要項に示す必要書類を市民活動センターに提出</p> <p>◆募集要項の配布場所 那須塩原市市民活動センター、本庁市民協働推進課、西那須野支所、塩原支所、箒根出張所</p> <p>※市のホームページからもダウンロードできます。</p> <p>問合せ</p> <p><b>市民活動センターうえるる TEL:0287-73-5741</b></p> <p>Eメール: shiminkatsudou@city.nasushiobara.tochigi.jp</p> |  |  |



## ボランティア活動実績

|    |       |     |     |     |       |     |      |
|----|-------|-----|-----|-----|-------|-----|------|
| 9月 | イベント他 | 10件 | 44人 | 10月 | イベント他 | 11件 | 65人  |
|    | 傾聴    | 11件 | 22人 |     | 傾聴    | 9件  | 20人  |
|    | 福祉体験  | 2件  | 11人 |     | 福祉体験  | 4件  | 17人  |
|    | 合計    | 23件 | 77人 |     | 合計    | 24件 | 102人 |

## ボランティアセンター登録数（10月31日現在）

|              |     |
|--------------|-----|
| 団体           | 個人  |
| 108団体（非公開含む） | 95人 |

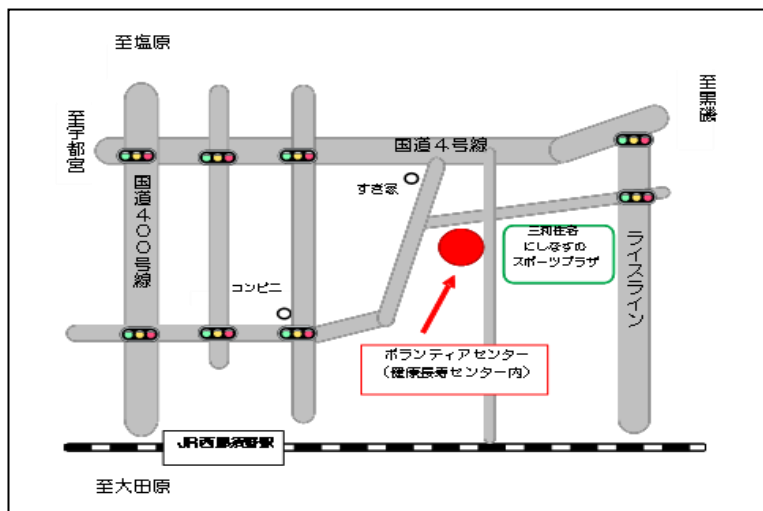


## 地域共生社会振興基金寄付者一覧（令和5年11月1日～令和6年10月31日）（敬称略）

- ・有限会社那須クリーン
- ・株式会社真田ジャパン
- ・そすいの郷ふるさとにしなす産直会
- ・那須野ヶ原ライオンズクラブ
- ・株式会社 Shikano
- ・石川建設株式会社
- ・那須塩原市一般廃棄物処理協同組合
- ・株式会社大島自販
- ・那須野農業協同組合

地域共生社会振興基金とは、地域共生社会の実現のため、那須塩原市社会福祉協議会が設置している基金です。

## 【ボランティアセンター】



## クイズの答え



## 3. 目

ろう者が視覚中心の生活を営んでいることを示しています。

また、赤色・青色・黄色・緑色は、アジア太平洋、ヨーロッパ、全アメリカ、アフリカと4つの地域連合を表現しています。

発行：社会福祉法人那須塩原市社会福祉協議会  
 ボランティアセンター  
 TEL：0287-47-6700  
 FAX：0287-47-6690  
 〒329-2705 那須塩原市南郷屋5-163  
 （健康長寿センター内）  
 Eメールアドレス v.center@ns-shakyou.jp  
 ★メール、FAX、電話でみなさまの感想や情報をお寄せください。



## 【QRコード】



▲社協公式 LINE



▲ボランティアセンター情報誌



▲那須塩原市社協フェイスブック